

郷土博物館・文学館だより

現在当館では、江戸時代の国学者・賀茂真淵の特別展を3月23日まで開催しています。

展示では、賀茂真淵の誕生から学問の師・荷田春満との出会い、そして江戸に来てからの彼の研究成果を、関係する資料を展示しながら紹介しています。主な資料は「賀茂真淵画像」、「賀茂真淵和歌懐紙」、「和歌会留書」、「冠辞考」、「国意考」などです。また彼と交友があり渋谷にも住んでいた服部南郭や、門人である塙保己一についても紹介しています。

なお今回の展示は、社団法人温故学会・塙保己一史料館との共催展です。史料館では、普段展示していない保己一の資料を展示していますので、こちらもお覧下さい(23日まで)。

《塙保己一史料館》渋谷区東2-9-1
電話 03-3400-3226
郷土博物館・文学館から徒歩約5分
会期中に限り日曜日休館

特別展

賀茂真淵

—その生涯から探る
学問への眼差し—



賀茂真淵肖像画

第八回渋谷現代短歌く優秀作・佳作く
逸見久美選

【優秀作】

地下鉄が三階に停まる渋谷駅

出口に惑ふ吾の感覚

(北区 押田 仍宏さん)

散策の代々木公園抜けければ

ポランテアしてゐる友と出会ひぬ

(渋谷区 浅倉サカエさん)

建物と手先の地図を見比べて

自分の小(ち)さきを知る猿楽町

(渋谷区 椎名 恵理さん)

木枯らしや色づく街角並木橋

車の窓に舞い散る落葉

(目黒区 竹内 貞雄さん)

TVスターだけどこでは買物ハンター

あなたも同じ渋谷のるつぼ

(品川区 小山すみれさん)

【佳作】

花吹雪浴びつ、ゆけば訓練の元気な声す消防学校

(渋谷区 木原 昭子さん)

美しい少女に声をかける——といふ仕事してゐる

渋谷の青年 (調布市 水上比呂美さん)

故郷(ふるさと)の老母(はは)を想いてジャンボ買う

夕べの雑踏ハチ公広場(港 区 黒川 京子さん)

病む夫を見舞いに今日も足はこぶ渋谷の坂を上り

下りして (渋谷区 亀田 借子さん)

「渋谷にもちゃんと季節はあるんだよ」代々木公園の落ち葉が語る (横浜市 福留綾里紗さん)

日本で初めて飛行機が飛んだ日

1903年12月、アメリカのノースカロライナ州キティホークで、ライト兄弟は12馬力のエンジンを搭載した「ライトフライヤー号」によって人類初の有人動力飛行に成功します。この成功から、飛行機の技術革新は急速に進み、7年後の明治43年（1910）には、日本でも初めての飛行機が空を飛びます。

最初の飛行が行われたのが、現在の代々木公園でした。なぜ渋谷で、いったい誰が飛行機を飛ばしたのでしょうか。

現在の代々木公園や国立代々木競技場、NHK放送センター、渋谷区役所などを含む広大な土地には、明治42年陸軍の練兵場が建設されました。練兵場は、兵隊の訓練を行う場所で、この場所を利用して、試験飛行が行われたのです。当初は所沢飛行場（建設用地）が予定されていましたが、軍が購入した土地は、さつま芋を引き抜いたばかりの柔らかい土地で、飛行機が滑走するのは難しかったため、急ぎよ代々木の陸軍練兵場で行われることになりました。

この試験飛行で飛行士を務めたのは、陸軍工兵大尉徳川好敏、歩兵大尉日野熊蔵の2人でした。陸軍では、飛行機の戦略的可能性に着目し、国産機製造を試みるもののうまくいかず、両大尉をヨーロッパに派遣し、操縦技術を習得させると共に、飛行機の購入を指示しました。徳川大尉はフランスへ、日野大尉はドイツへ派遣され、2人とも1ヶ月程の短い期間に飛行技術を習得しました。そして徳川大尉はアンリー・フアルマン式の複葉機を、日野大尉はハンス・グラデー式の単葉機を購入しました。しかし、輸

送のためには機体を分解しなければならず。両大尉以外の人には、ほとんど実物を見たことがなかったため組み立ては、大変な苦勞でした。

明治43年12月13日から7日間にわたり、試験飛行が行われました。新聞の報道により、その様子を見ようと数万もの大群衆が連日訪れたといえます。試験飛行は、組み立て時の問題による故障や飛行による損傷、天候不順などにより、思うように進みませんでした。しかし、14日の夕方、日野大尉は、距離60m、高度10mの飛行に成功します。そして、最終日の12月19日、徳川大尉は出発地点の原宿辺から、現在の明治神宮、代々木公園を大きく旋回、時間は4分間、距離3,000m、高度70mの飛行を成功させ、無事に出発地点付近に着陸しました。初めて飛行を成功させたのは日野大尉ですが、正式な飛行実施日ではなかったため、正式記録として認められたのは徳川大尉の記録でした。しかし、2人の功績は共に代々木公園内にある「日本航空発始之地」の碑に刻まれ、今に伝えられています。



明治43年の徳川大尉（右）と日野大尉（左）



中原中也と大岡昇平 (後編)

昭和5年(1930)頃、大岡昇平は中原中也から「自分と同じように不幸になれ」という言葉を投げつけられ、それ以降中也と距離を置くようになりました。中也は国民新聞社で働き始めた大岡に対し、昭和9年に発表した「玩具の賦」で「おまへは月給で遊び給へだ」と批判します。大岡は「少なくとも、中原と二人きりで話している間は、その魂の美しさから流れ出る一種の優しさに惹かれずにはいられなかった」という気持ちを抱く一方で、実際には「中原の不器用を笑い、被害妄想を頭ごなしに打ち消すという風に、生活の知恵を誇示する(特に大勢の人のいる席では)、中原に刃向かう側に立たずにいられなかった」と述べています。

しかし、こうした二人の関係は、突然終わる日が来ます。中也は昭和11年に長男文也が病没すると、悲嘆のため精神に変調をきたし、翌年には結核性脳膜炎であっけなく亡くなってしまふのです。大岡は、親愛と憎悪を繰り返した友の棺の前で涙を流しました。

昭和19年3月、戦局の悪化にともない、大岡は前線に駆り出されることになりました。この時すでに35歳になっていた大岡は、死と向き合う「不幸の予感」とともに、中也の『山羊の歌』『在りし日の歌』の詩句が不思議に心に沁みるのを感じたといっています。

出征地のフィリピンのミンドロ島でも、歩哨中に熱帯の夕日を眺めながら、中也の『山羊の歌』の中的一篇「夕照」を口ずさみます。

丘々は、胸に手をあて
退けり。

落陽は、慈愛の色の
金のいろ。

戦地での体験は、大岡に新しい文学的視点をもたらし、昭和21年「俘虜記」を書き始めます。同時に「中原の不幸は果して人間という存在の根本条件に根拠を持っているか。いい換えれば、人間は誰でも中原のように不幸にならないものではないものであるか。」という問いから中原中也研究を始めます。昭和49年、大岡が中也研究の総決算として出版した『中原中也』には、それまでの27年間に書いた中原に関する文章のすべてが収録されています。「「帰郷」について」には、知人から小郡駅前の食堂の割箸袋に中也の詩が印刷してあったという話を聞き「中原もとうとう割箸の袋になってしまったか、と私は思わず大笑いしたが、むろんうれしい笑いであった。」と書いています。



『中原中也』

昭和49年
角川書店

収蔵資料紹介

石井鶴三 木版画「代々幡」

大正8年(1919)

タテ 17.0 cm ヨコ 24.0 cm



渋谷区の北部には、本町から笹塚まで東西に走る水道道路とよばれる道路があります。名前は、かつてそこに東京市に水を供給するための水路が通っていたことに由来します。ここで紹介する木版画は、代々幡村(町)を流れていたこの玉川上水新水路(東京市新水道)周辺を描いたものです。

明治時代中期、東京では飲料水の水质悪化が問題になり、新宿駅西側の淀橋台地に浄水場が建設されることになりました。そして、浄水場に玉川上水の水を引くため、明治三十一年(一八九八)、現在の杉並区のと田堀から浄水場まで、ほぼ直線に新水路が作られました。

この木版画は、大正八年(一九一九)、日本風景版画会が刊行した『日本風景版

画』シリーズの第九集「東京近郊之部」の一枚として制作されました。作者の石井鶴三は、洋画家石井柏亭の弟で、明治一五年、東京御徒町で生まれました。東京美術学校で彫刻を学んだあと、彫刻家として、「荒川嶽」などの代表作を制作します。その一方で、水彩・版画・挿絵など絵画の制作にも力を注ぎました。新聞に連載された中里介山の「大菩薩峠」や、吉川英治の「宮本武蔵」の挿絵は、多くの人々に親しまれました。

この木版画では、大正時代のどかな風景が描かれています。代々幡村(町)を築堤で分断するように作られた新水路は、交通の障害になるなど、この地域の人々にとって大きな負担となっていたそうです。

【今後の展示予定】

企画展「新収蔵資料展」

平成20年4月1日(火)～4月20日(日)

*平成19年度に新しく収蔵された資料を中心に
展示します。

企画展「代々木から上原方面の写真展」

平成20年4月25日(金)～6月15日(日)

*昔の代々木・西原・上原などの地域の写真を
展示します。

白根記念

渋谷区郷土博物館・文学館

SHIBUYA FOLK AND LITERARY SHIRANE MEMORIAL MUSEUM

開館時間 ◆ 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 ◆ 月曜日(休日の場合はその直後の平日)・年末年始

入館料 ◆ 一般:100円(80円) 小中学生:50円(40円)

※1名以上10名以上の団体料

※60歳以上の方・障がいのある方・付き添いの方は無料

お問い合わせ ◆ 東京都渋谷区東1丁目19-1 TEL:03-3486-2791

郷土博物館・文学館だより vol.7

平成20年3月1日発行